

2021年度 「キャンパスライフに関するアンケート調査」

Doshisha University Campus Life Survey Academic Year 2021

調査結果ダイジェスト

(調査実施期間：2021年11月1日～11月21日)



同志社大学
Doshisha University



2021年度「キャンパスライフに関するアンケート調査」結果概要

コロナ禍の学びの実態

秋学期にほぼ毎日、または週に数回、通学した学生



- ▶ 1・2年次は約9割が、3年次でも約8割が、週に数回以上、通学している。
- ▶ いずれの学年でも、昨年度と比べると、15ポイント以上アップ。

教員が学生の理解度や到達度を定期的に確認し、授業内容のふり返りや補足を挟むかたちで授業が進んだと感じている学生



- ▶ 期末試験やレポートまでに、授業期間中に、授業内容を反芻する機会が設けられていると認識している学生は、1年次が最も多く66%。2・3年次では6割ほど。一方で、授業中に、ふり返りの機会や補足がなかったと感じている学生は、3～4割と、けっして少なくはない。

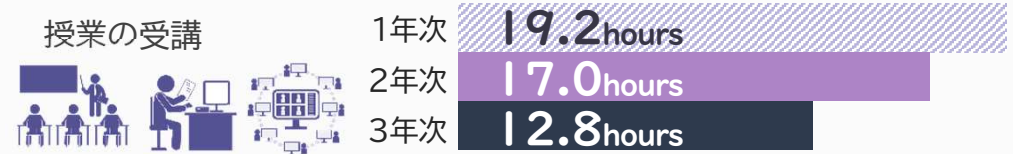
知識の定着や理解力を高める勉強法として、対面授業よりオンデマンド型授業のほうが、自分に向いていると感じている学生



- ▶ 知識の定着や理解を深める勉強法としてオンデマンドが自分に向いていると、思っている学生は約6割、そう思っていない学生は約4割。
- ▶ オンデマンド型授業を好む学生もいれば、そうではない学生もいる。

2021年度秋学期 各種活動に取り組んだ時間

平均活動時間(1週間あたり)

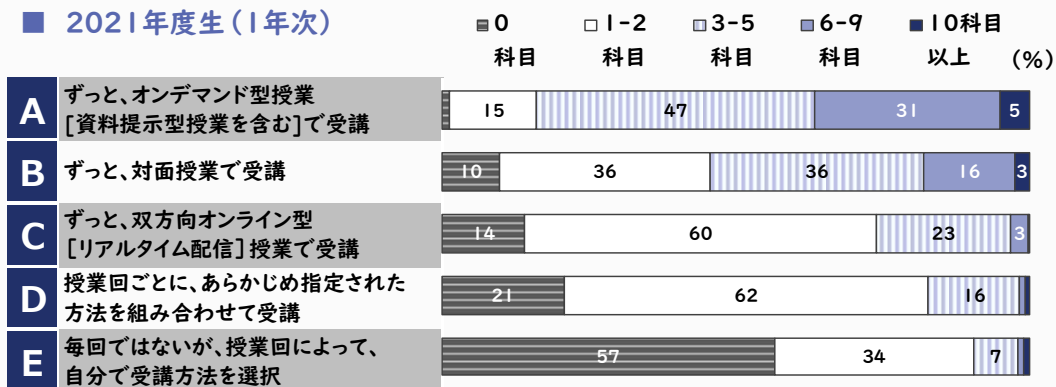


- ▶ 1年次のほうが、授業内外の勉強時間やクラブ・サークル活動に取り組む時間が長い。
- ▶ 一方で、上級生ほど、読書やアルバイト活動に費やす時間は長い。

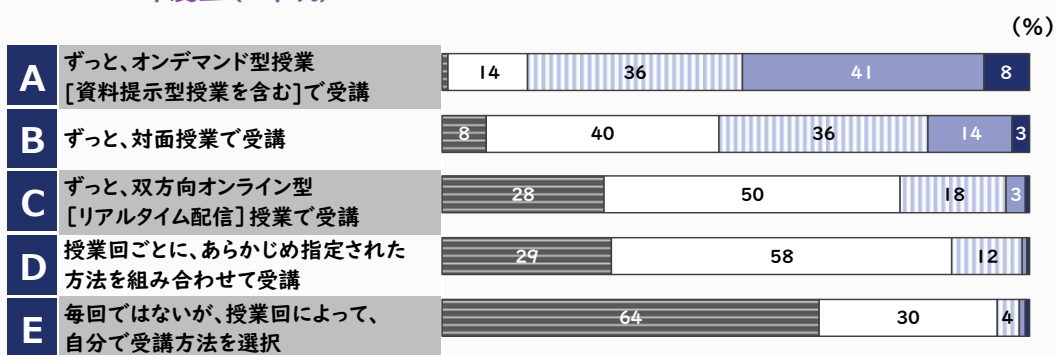
2021年度「キャンパスライフに関するアンケート調査」結果概要

2021年度秋学期 受講方法別にみた科目数

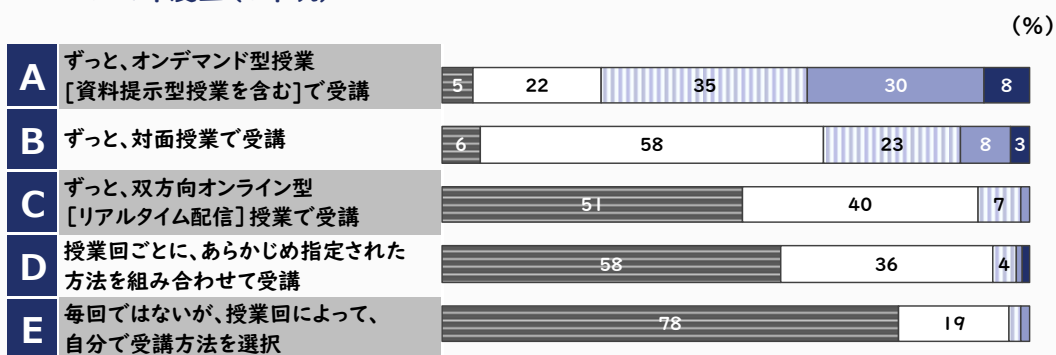
2021年度生(1年次)



2020年度生(2年次)



2019年度生(3年次)



※3%未満の場合は、グラフ内に集計値を表示していない。



□ 他の受講方法と比べて、「A:オンデマンド型」の受講科目数が最も多い。

- ▶ 1年次で最も多かった回答は、「3-5科目」(47%)
- ▶ 2年次で最も多かった回答は、「6-9科目」(41%)
- ▶ 3年次で最も多かった回答は、「3-5科目」(35%)
- ▶ 1・2年次と比べると、特定の選択肢に回答が集中せず、分散している。
- ▶ オンデマンドでの受講科目数が多い傾向にあったのは、2年次。2年次では、オンデマンドで6科目以上受講した学生が、約半数を占める。



□ オンデマンド型に次いで多いのは、「B:ずっと対面」で受講した科目。

- ▶ 1年次で最も多かった回答は、「1-2科目」と「3-5科目」(それぞれ36%)
- ▶ 2年次で最も多かった回答は、「1-2科目」(40%)
- ▶ 3年次で最も多かった回答は、「1-2科目」(58%)
- ▶ 1年次ほど、対面で受講する科目数が多い傾向にある。



□ 「C:双方向オンライン」で受講している科目数は、3番目に多い。

- ▶ 双方向オンラインで受講している授業が1科目以上ある学生の割合は、1年次が最も高く、上級生ほど低い。
- ▶ 1年次で最も多かった回答は、「1-2科目」(60%)
- ▶ 2年次で最も多かった回答は、「1-2科目」(50%)
- ▶ 3年次で最も多かった回答は、「0科目」(51%)



□ 「D:あらかじめ指定された方法」で受講している科目数は、4番目に多い。

- ▶ あらかじめ指定された方法で受講している授業が1科目以上ある学生の割合は、1年次が最も高く、上級生ほど低い。



□ 「E:受講方法を選択できる」受講科目数は、最も少ない。

- ▶ 受講方法を選択して受講している授業が1科目以上ある学生の割合は、1年次が最も高く、上級生ほど低い。

2021年度「キャンパスライフに関するアンケート調査」結果概要

大学での学びの受けとめ方（2020年度秋学期と2021年度秋学期の比較）



		A 教育満足度 教育全般に対する満足度		B 授業参加実感 自分が授業に参加していると実感できている		C 自律的学習 自分なりに計画を立てて、勉強や研究に取り組んでいる		D 学び合い 授業内容について、他の学生と教え合ったり情報交換をしたりする		E 所属意識 大学の一員だと感じる		F 孤独感 ほかの人たちから、孤立しているように感じる	
		満足+やや満足	昨年度比	非常にそう思う +どちらかといえば そう思う	昨年度比	あてはまる +ややあてはまる	昨年度比	ひんぱんにあった +ときどきあった	昨年度比	あてはまる +ややあてはまる	昨年度比	あてはまる +ややあてはまる	昨年度比
2021 年度生	2020年度秋学期	-		-		-		-		-		-	
	2021年度秋学期 (1年次秋学期)	73%		73%		65%		64%		69%		35%	
2020 年度生	2020年度秋学期 (1年次秋学期)	51%		49%		66%		55%		50%		50%	
	2021年度秋学期 (2年次秋学期)	66%	15pt ↑	70%	21pt ↑	65%	1pt ↓	54%	1pt ↓	58%	8pt ↑	45%	5pt ↓
2019 年度生	2020年度秋学期 (2年次秋学期)	61%		50%		74%		50%		65%		45%	
	2021年度秋学期 (3年次秋学期)	73%	12pt ↑	72%	22pt ↑	75%	1pt ↑	59%	9pt ↑	73%	8pt ↑	34%	11pt ↓

- ▶ 「A:教育満足度」は、どの学年でも7割前後。2020年度生では7割を割り込み、他の学年よりもやや低い。昨年度と比べると、10ポイント以上アップ。
- ▶ 「B:授業参加実感」がある学生も、学年を問わず、約7割。昨年度と比べると、20ポイント以上アップ。
- ▶ 「C:自律的学習」に取り組んでいる学生の割合は、2019年度生では75%、2021年度生と2020年度生では65%。昨年度から横ばいで推移。
- ▶ 学生同士の「D:学び合い」の機会があった学生の割合は、5割台から6割台。2021年度生が最も多く6割をこえる。一方、2020年度生では少なく、半数程度。昨年度と比べると、2020年度生は横ばいだが、2019年度生は9ポイント上昇。
- ▶ 「E:所属意識」をみると、2021年度生と2019年度生では約7割の学生が、大学の一員だと感じている。2020年度生は他の学年よりも所属意識が低く、6割を下回る。また、2020年度生は、他の入学年度生よりも、孤独感が約10ポイント高かった。ただし、昨年度と比べると、所属意識は高まっており、孤独感も薄らいでいることがよみとれる。

2021年度「キャンパスライフに関するアンケート調査」実施概要

□ 調査趣旨

- ▶ 「キャンパスライフに関するアンケート調査」は、より良い教育プログラムを開発することをめざして実施している、本学独自の学修行動調査である。本調査は、学生が本学の教育にどのように取り組み、自身の学びをどのように受けとめているのかを、学生自身に自己評価してもらう形式で質問することで、本学の教育の実態や学生の学びの現状に加え、学年進行にともなう学生の成長、学年や入学年度による違いも把握できるような調査設計になっている。2004年度以降、毎年度継続的に、学生たちから回答データを集め、蓄積してきた。
- ▶ 従来、本調査は学部学生のうち、1年次と3年次を調査対象として実施してきた。昨年度(2020年度)のコロナ禍において、学生の学びを広く把握するため、臨時で調査対象を2年次生にも広げた。2021年度以降は、1年次と3年次だけでなく、2年次も正式な調査対象に加えることになった。さらに、2022年度以降は、学部の新1年次生を対象とした「入学時調査」を開始することが決まっており、入学時から在学期間中の学生の学びの様子やその成長を、年度単位で、継続的に調べることになった。

□ 主な調査項目

- ▶ ①回答した学生のプロフィール(所属学部・学科、入試区分、大学入学前の第1志望先、通学区分など)
- ▶ ②正課内外の学びへの取り組み(授業経験、受講方法別の秋学期の授業科目数、授業内外の学習状況、生活時間、クラブ・サークルへの加入状況など)
- ▶ ③学びの受けとめ方(能力・スキルの獲得実感、大学への適応感、教育満足度、生活実感など)
- ▶ ④卒業後の希望進路

□ 実施方法と実施期間

- ▶ 昨年度(2020年度)同様、2021年度もWEB調査で「キャンパスライフに関するアンケート調査」を実施した。実施にあたって、本学専用の授業支援システム(LMS)「e-class」のアンケート機能を利用した。
- ▶ 昨年度(2020年度)は、秋学期の定期試験期間にタイミングを合わせて調査を実施した。2021年度からは調査実施時期を11月に繰り上げることで、同年度の3月中に回答した学生への個別フィードバック情報を提供できるようにした。その情報をもとに学生自らが学習状況をふり返ったり、新年度の履修計画などに活用したりできるようにした。

	1年次	2年次	3年次
調査対象者	2021年度生(正規学部学生全員)	2020年度生(正規学部学生全員)	2019年度生(正規学部学生全員)
調査実施期間	2021年11月1日~11月21日		
調査実施方法	WEB調査		
有効回答数	1,145件	645件	422件
有効回答率	18.3%	10.8%	6.9%